

令和4年度年間活動計画

「京都伝統文化の森推進協議会」は、近年の社会構造の変化により、人と森との関係が希薄になり、京都三山に荒廃した森林が押下している状況を受け、寺院、地元団体、学識者、行政（林野庁、京都市）等が連携し、京都の貴重な歴史的、文化的資産を継承し、日本文化を再生する森づくりを進め、その活動を広く発信するべく平成19年12月に設立された。

令和4年度においては、京都三山の文化的価値について、情報を発信し、市民の理解を深める「文化的価値発信事業」及び、森林整備の手法を検討する「森林整備・景観対策事業」に継続して取り組む。

また、東山（「東山風景林」約190ha）に加え、平成30年度から活動対象となった西山（「嵐山風景林」約60ha）においても市民参加の活動を展開する。

さらに、地域協議会※（山科安朱の森と暮らしネットワーク）との情報共有や技術交流、共同事業等を展開することで、活動の幅の拡大を図る。

加えて、本協議会の安定的な資金獲得に向け、知名度の向上と、本協議会の取組を応援いただける個人、企業等の拡大を目的にクラウドファンディングを実施する。

※各地域に所在する森林において、地域住民や利害関係者等の意見を勘案しながら森林整備・保全等を行う団体

1 会議

(1) 文化的価値発信及び森林整備・景観対策合同委員会

- ア 日時 令和4年6月13日（月）午前10時～正午
- イ 場所 京都市本庁舎第1会議室

(2) 役員会

- ア 日時 令和4年7月28日（木）午前9時～午前10時
- イ 会場 ホテルルビノ京都堀川 松の間

(3) 総会

- ア 日時 令和4年7月28日（木）午前10時30分～正午
- イ 会場 ホテルルビノ京都堀川 平安の間

(4) 森林整備・景観対策専門委員会

- ア 日時 令和4年11月頃
- イ 場所 未定

(5) 文化的価値発信専門委員会

- ア 日時 令和5年2月頃
- イ 場所 未定

2 文化的価値発信事業

(1) 公開セミナーの開催

例年、6月、10月、翌年2月の計3回公開セミナーを開催していたが、今年度は「4 文化的価値発信及び森林整備・景観対策合同事業 (3) クラウドファンディングの実施」に記載のとおりクラウドファンディングを実施するため、クラウドファンディングの内容及び実施時期に対応し、支援の拡大に寄与する形で、以下のセミナー(案)を適宜修正しながら実施する。セミナー実施時期はクラウドファンディングの開始時、締切前、返礼時を想定。

セミナー概要	登壇者
京都市動物園～安祥寺上寺跡を巡る	梶川敏夫氏 (本協議会 委員)
動物と人と森の関係について語る	坂本英房氏 (京都市動物園 園長) 田中正之氏 (京都市動物園 生き物・学び・研究センター長) 鎌田東二氏 (本協議会 会長)
京都の森を感じるモノづくり体験	近藤高弘氏 (本協議会 委員) 宇納正幸氏 (木工作家)

(2) 文化的価値発信プロジェクト

ア 平安時代前期に創建された山林寺院「安祥寺上寺跡」を巡る 歴史たんけんハイキング

- (ア) 日時 令和4年6月26日(日)午前9時～正午
- (イ) 場所 春秋山荘～安祥寺上寺跡～春秋山荘
- (ウ) 講師 梶川敏夫氏(本協議会 委員)
- (エ) 内容 「山科の歴史の中の安祥寺」についての講義の他、安祥寺上寺跡現地ツアー
- (オ) 共催 山科安朱の森と暮らしネットワーク

イ 近藤委員を中心としたプロジェクトチームによるモノづくり

京都三山の木に注目していただくことを目的に、イベント出展等を通じてグリーンウッドワークの取組を実施。

※ 必要に応じて両専門委員会に協力を依頼

3 森林整備・景観対策事業

(1) 林相改善事業

ア 過去施業の振り返り及び発信

平成19年から継続的に実施してきた森林施業について、事業成果等の取りまとめを実施しデータの蓄積を図るとともに、対外的な説明資料として活用できるものを作成する。

イ 計画立案及び監理業務

実施規模については、アの内容に応じて勘案する。

ウ 森林施業（清水山地区、将軍塚地区）
実施規模については、アの内容に応じて勘案する。

エ その他

(2) 京都三山の森づくり

ア 高台寺山国有林（清水山地区、将軍塚地区）における除伐活動

イ 嵐山国有林における地域住民参加により森林環境教育活動

ウ その他

4 文化的価値発信及び森林整備・景観対策合同事業

(1) ホームページの運営（通年）

イベント情報、森の写真館、コラムの更新等情報発信を行う。

(2) 第22回東山クリーン作戦

ア 日時 令和4年10月（予定）

イ 場所 東山山頂公園とその周辺

(3) クラウドファンディングの実施

協議会の安定的な資金獲得に向け、知名度の向上を目的に、クラウドファンディングを実施する。プロジェクト内容や時期等については、プロジェクトチームにより決定する。

プロジェクトチームメンバー

氏名	備考	備考
鎌田 東二	文化的価値発信専門委員長	
丘 真奈美	文化的価値発信専門副委員長	
近藤 高弘	文化的価値発信専門委員	
大西 宏志	文化的価値発信専門委員	
田中 和博	森林整備・景観対策専門委員	
久山 喜久雄	森林整備・景観対策専門委員	
里深 好文	森林整備・景観対策専門委員	リーダー
貫名 涼	森林整備・景観対策専門委員	
高田 研一	森林整備・景観対策アドバイザー	